

乙第21号証

大阪経済大学経営学部教授会総務録 (04-04)

I. 日時
II. 場所
III. 出席者

2004年5月21日(金) 13:35 ~16:50

本館第2会議室

経営学部長他 計24名

出欠表

○	青水 司	○	池野 龍男	留	伊藤 正之
○	伊藤 裕人	○	今西 宏次	○	関口 倫紀
○	太田 一樹	○	林田 修	○	津田 博之
○	北村 賢	○	樋口 克次	○	朴 泰勲
○	木村 俊郎	○	藤岡 里圭	○	藤嶋 雅
○	後藤 一郎	○	山田 文明	○	増村 紀子
○	鈴木 滋			○	吉垣 爽
○	二宮 正司				
○	藤本 清一				
○	本田 良巳				
○	吉井 康雄				
○	渡辺 大介				

[教授] 12名 [助教授] 6名 [講師] 7名
[合計] 26名 (留学者1名) [定足数] 13名

V. 議題

- 1.
- 2.
- 3.
- 4.
- 5.
- 6.
- 7.
- 8.
- 9.
- 10.

1. 教務に関する件
2. 入試に関する件
3. 学生部に関する件
4. 人事に関する件
5. 経営情報学部新学科に関する件
6. 大学院設置について【経営】
7. カリキュラムについて
8. 学部長の選出について【人間】
9. 各種委員の選出について
10. その他

(7) [Redacted]

[Redacted]

(8) [Redacted]

(9) [Redacted]

(10) [Redacted]

(11) [Redacted]

(12) [Redacted]

(14) [Redacted]

① [Redacted]

② [Redacted]

③ [Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

④その他、吉井教授から提案されていた議事録問題について、次の3点を再確認した。①議事録は2ヶ月以内に訂正協議を可能とする。②録音希望者は、出席者の了解を得て行う。③6月6日議事録の訂正希望文を本日の議事録に収録する。【下記】

6月6日の教授会議事録「③ベンチャービジネス論・市場戦略論」について、吉井康雄氏より、下記のように修正すべきだとの意見があった。

*****議事録に対する代替案*****

③〔ベンチャービジネス論〕担当者の採用について《二宮審査委員長》

6月4日の研究報告会の後、審査委員会で検討した結果、太田一樹氏をベンチャービジネス論等

担当者に推薦したいとして、二宮庄司、林田修、樋口克次、各審査委員を代表し二宮審査委員長から主要な審査論文について講評があり、専任教員として適格であると判断した旨報告された。これに対して次の意見が交換された。

(吉井)「二宮先生のレフェリーは、ベンチャービジネス論ではなくマーケティングの先生としてのレフェリーです。ベンチャービジネス論の業績が全くないではないですか。採用の判断基準を示してください。」

(執行部仙) 大学院設立における申請条件はベンチャービジネス論ではなく、その方がパスできるように適宜変更すればよい。

(二宮) ベンチャービジネス論は全く新しい分野でこの大学も不明確なまま進めているのが現状です。吉井先生はそれではどんな基準をおもちですか。

このような議論の後、在籍者 16 名による投票が行われ、15 名「可」、1 名「否」の投票結果により、ベンチャービジネス論の担当として採用することが決定した。この採決に対して次の要望がなされている。

(吉井)「ベンチャービジネス論として採用されたならば、マーケティング論ではなくベンチャービジネス論の教員としてのその責任を果たすようにもっていただきたい。」

結果として、太田一樹氏の就任予定日は 2004 年 4 月 1 日付けであること、出席している教授の承認のもとで教授として迎えることが決定した。

以上

6月4日 確認
北村 哲夫